

bikke + Kondō 1992

私がヘルメットかぶって自転車通学してた高校時代。「くっさー!」一瞬、息を止める道があった。

あれはたしか独特なけもの臭のようなものだったはず。これを聴いて不意にあの臭いを思い出し、嗅ぎたいと思った。

それにしても恐ろしい! 瑞々しさは衰える事なく、いや、今のほうがより瑞々しいのでは!?

やはりbikkeは妖怪じゃ!

林いずみ(TOKUZO)

一曲目のイントロから泣いた、!!

音楽を愛する神様が25年の歳月に魔法をかけて運んでくれた。

知的で明るくて優しく温かくて熱い。

まるで彗星みたいに未来に届いたプレゼント、

bikkeさんと近藤達郎さんの「1992年」は

これからの未来へのメッセージ。

PIKA

bikkeさんの心がとらえた一つ一つから

生まれてきた大切な言葉、行間は、清々しくて、

ちょっぴり淋しくて優しくて、

そのすべてを、聴き手は大切に心にしまいたくなります。

bikkeさんと近藤さんはじめ、

その当時の素晴らしい仲間の

熱、愛が、間近でつたわる感じでした。

25年前、あなたたちは、

原石というよりは、もうすでに、

まぶしいくらい輝いていたのですね!

アルバムで異色の「Augenblick」が、

その前と後の間に、クールな顔をして立っている感じが、

真夜中に聴いていると、不思議な気持ちになります。

大好きな、軽やかさと淋しさのある「さよなら!」。

これが原型だったんだ!と感動。

「野の人の野のうた」や「桜のころ」。

こんな美しい曲が、この世界にあることに、

改めて感謝します。

遠い秋の日にはbikkeさん、近藤さん、

向島さん、西村さん、林さん、山田さん、ありがとう。

25年後の冬の日から。

pocopen (sakana)

他の人たちのコメントにも溢れてると思いますが、これは名作です。そんなこと分かっていたけど、やっぱりそれ以外に言葉が見つからない。

ここに収められた曲の多くは、ラブジョイやbikkeのソロでおなじみの名曲で、自分は相当な回数聴いてきているはずなのに、とても新鮮な気持ちで聴けて感動してしまった。うたが生まれ落ちてまだそれほど時間が経っていない頃に特有の、煌めきや瑞々しさが随所に纏わり付いていてとても気分がよくなります。もう一枚買ってあの人にあげようと思ってます。

山本精一



bikke + 近藤達郎 1992年

「君が好き!」「野の人の野のうた」のほか、「川辺で」「Augenblick」等、CD未収録曲を初収録

glcx-0003 2,300円(税抜) 発売元: galabox disx 販売元: メタ・カンパニー



2017年
12月17日(日)
発売!

galabox
~galabox disx~
[http://disx.galabox.net/
bikke+kondotatsuo/](http://disx.galabox.net/bikke+kondotatsuo/)

bikke
近藤達郎
向島ゆり子
林慈郎
西村睦美
山田由美子

「bikke + 近藤達郎 1992年」

1992年、私bikkeは近藤達郎プロデュースで、

ヴァイオリンの向島ゆり子さん、

京都の友人達と録音をしました。

いつかアルバムとして出せたらいいなと思い、幾々歳月。

待った甲斐あり、この度galabox disxから発売して貰います。

ラブジョイと重なる曲があり、CD未収録の曲もあります。

だいちゃん(近藤達郎)と二人での曲、

ゆりちゃんと三人での曲、林慈郎(積極的な考え方の力)、

西村睦美・山田由美子(水銀ヒステリア)と四人での曲。

まだ見えない未来にワーイと駆け出した華奢だった私。

金木犀の匂いがする遠い秋の日から届いた音楽を
ぜひ聴いて下さい。

bikke



Illustration: Kazuhiro Nishiwaki